

# 幼児教育における疑似体験の効果

## ー水育を促す教育ツールの制作ー

情報メディア学科 大島 直樹ゼミ

1022018

伏見 恵弥

### 1 はじめに

日本は環境や資源など様々な物に恵まれた国である。そのため、水道が普及し水を簡単に入手できる現代の日本では、水はあって当たり前前の物と認識され、普段の日常生活の中で感謝の気持ちや限られた貴重な資源だという認識が薄れている傾向にある。このままでは水不足などの問題が発生してくる。しかし環境教育で水の大切さを伝えても、子どもは学ぶことに対して受動的である傾向があるため、水に関する大切さが身に付かないことが問題点である。本研究の目的は、水循環をテーマとして、私たちの手元に飲み水が運ばれる過程を、体験を通し知ってもらうツールを制作する。それにより水資源へ関心を高め、感謝する習慣を身に付けることである。

### 2 教育についての調査

#### 2.1 体験学習とは

「体験学習・体験活動の効果的な進め方」では、体験学習について以下のように述べられている[1]。現代の学校の問題点として「座学中心で活動が少ない」等という理由から、学ぶのが嫌いな子どもが増え、学びから逃げていく傾向がある。そのため教育に効果的な教材づくりのために子どもに興味関心を引き付ける素材として、体を刺激し直接的な経験を通して学ぶ「体験学習」を選択した。

#### 2.2 環境教育とは

環境教育とは、「環境の痛みを自分の痛みとして感じ、その痛みを和らげるために何をしなければいけないか自分で考え、自ら実行していく事ができる人を育てる教育」と定義されている[2]。育成したい環境観として、環境に対し関心・思いやりを持ちながら共生するために主体的環境観の中に含まれる遠心的環境観と求心的環境観(表1)を育成していくことが重要といえる。環境教育は相手の感情や情緒など、心を自分のものとして感じ取る共感性がなくてはならない。この心は「言葉による教育」だけでは身に付かないため、2.1で述べた体験教育が効果的である[3]。

表1 主体的環境観

遠心的環境観	自己の行為を他者や外界環境に投影し、「どうすればよいか」を問い続ける感覚と価値観
求心的環境観	外界環境の問題を自分の事のように捉え考えること。

### 3 アニミズムについて

2.2で述べた環境教育の定義から、環境教育にアニミズム要素を取り入れた。アニミズムとは、生命のないモノや事象にも生命や意識・意思を持っているとする思考である[4]。子どもを惹きつける要素を明らかにするため、幼少期に好んでいた作品について大学生18人にアンケートを取った。その結果、幼児に好

まれる作品には幼年層に親しみやすいようアニミズムを用いたキャラクターが登場する作品が多いことがわかった。このことから、子どもに興味関心を引き付ける「体験要素」の他に「アニミズム要素」を取り入れることも効果があることがわかった。

#### 4 制作物の内容

本制作物の主なターゲットは5～7歳の低年齢の男女を対象とした。そこで『水絵本』という新しい水育ツールを制作した(図1)。これは飲水が手元に届くまでを体験を通して見て水の大切さを学ばせるものである。「体験の楽しさ」と「絵のわかりやすさ」「アニミズム」の3つの要素を取り入れた。



図1 水絵本

ツールの概要として、実物の水が入ったページを傾け、次のページに水を流しながら物語を進めていく(図2)。1ページ目は一杯のコップのページから始まり、雨→川→浄水場→家庭の蛇口→1ページ目へ戻るといった流れである。これにより「水循環」を絵本という小さな世界でも表現した。

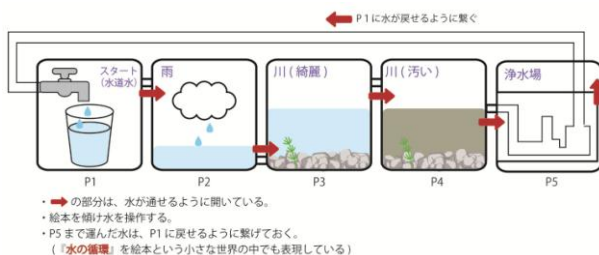


図2 水絵本の構成

アニミズムの工夫点として、水滴のキャラクターと一緒に水循環を見て学習していく要

素を取り入れた。擬人化した雲や浄水場などのキャラクターと出会いながら、雨の降る仕組みや浄水場の仕組みを教えるようにした。

#### 5 検証

水絵本の制作後、ターゲットである子ども8人に本作品を使用してもらい、使用前と使用後比べ、水への関心度の高まりや楽しく学習できたかアンケートを実施した。その結果、8人が楽しく水について学べたと答えた。このことから水絵本は効果的な水育ツールであることがわかった。

#### 6 まとめ

子どもに興味を引き付け、水に対し感情や情緒を自分のものとして感じ取る学習に最適なものは体験学習であることを明らかにした。また、アニミズムを用いたキャラクターは幼年層に親しみやすいことも明らかにし、体験とアニミズムを組み合わせることがより効果的である。これらを組み合わせた水育ツール「水絵本」によって子ども達に水について楽しく学習させ、その中で水の気持ちを感じ取り、水資源へ感謝の気持ちや限られた貴重な資源だという認識を与えられることが水絵本を用いた検証によって明らかにできた。

#### 参考文献

- [1] 佐藤真, 体験学習・体験活動の効果的な進め方, 教育開発研究, 2007.
- [2] 佐島群巳, 環境教育の考え方・進め方, 教育開発研究, 2000.
- [3] 杉原一昭, 生きる力を育てる一心の教育とは何かー, 田研出版, 1998.
- [4] アニミズム,  
<http://www.apeo.co.jp/yamadaworld/animism/>,参照Apr.4, 2013.